

## 平成21年10月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年8月31日

上場会社名 株式会社くらコーポレーション  
 コード番号 2695 URL <http://www.kura-corpo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年9月11日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 田中 邦彦  
 (氏名) 南垣内 啓太

TEL 072-368-9401

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年10月期第3四半期の業績(平成20年11月1日～平成21年7月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第3四半期	47,284	—	3,176	—	3,355	—	1,686	—
20年10月期第3四半期	41,513	17.5	1,932	△3.6	2,115	△1.1	1,161	6.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第3四半期	16,294.10	—
20年10月期第3四半期	11,221.62	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年10月期第3四半期	20,612	13,358	64.8	129,072.16
20年10月期	18,462	11,755	63.7	113,578.06

(参考) 自己資本 21年10月期第3四半期 13,358百万円 20年10月期 11,755百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	—	0.00	—	800.00	800.00
21年10月期	—	0.00	—		
21年10月期 (予想)				800.00	800.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年10月期の業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,988	13.3	4,177	71.0	4,418	71.6	2,195	283.7	21,214.27

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年10月期第3四半期	103,499株	20年10月期	103,499株
② 期末自己株式数	21年10月期第3四半期	—株	20年10月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年10月期第3四半期	103,499株	20年10月期第3四半期	103,500株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、平成21年4月に国内総生産（GDP）がプラス成長に好転したものの、企業収益の大幅な減収等から、設備や雇用の過剰感は払拭されておらず、今後更なる悪化が懸念され、先行き不透明なまま推移しております。

そのような経済環境の下、外食産業においては、派遣切りなどによる雇用不安やボーナスカットなどによる所得不安を抱える消費者の生活防衛意識の高まりから、ますます外食を手控える傾向が一段と鮮明になったことに加え、平成21年5月中旬には新型インフルエンザ感染を警戒して、外出が激減するなど、厳しい状況となりました。

このように取り巻く環境が厳しさを増す中、経営理念“食の戦前回帰”を掲げ、安全・安心な食の提供にこだわりを持って取り組む一方、回転すし業界で他社の追随を許さない最先端のIT化及びアミューズメント化を実現する当社の経営姿勢について、「いきなり黄金伝説」や「シルシルミシル」といった人気テレビ番組で相次いで特集放映され、また、「まぐろづくしフェア」など、産地とブランドにこだわった旬のネタをご提供するフェアを実施することで、顧客来店の動機付けを図ってまいりました。その結果、平成21年5月には月間売上高が過去最高記録を更新し、既存店売上高も直近3ヶ月続けて前年を大きく上回ることができました。

店舗開発につきましては、九州地区への出店を本格化し、佐賀県にも初進出を果たしました。商圈人口、アクセス、近隣状況等出店候補地を厳選しつつ、より広範な地域のお客様にくら寿司ブランドをお楽しみいただくため、当第3四半期累計期間に西日本で19店舗、東日本で6店舗の計25店舗を新規出店いたしました。一方で、西日本で1店舗、東日本で8店舗の計9店舗（うち7店舗は前期に減損計上）を閉鎖いたしましたため、当第3四半期会計期間末の店舗数は、全て直営店で239店舗（「無添蔵」4店を含む）になりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は472億84百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益31億76百万円（同64.3%増）、経常利益33億55百万円（同58.6%増）、四半期純利益は16億86百万円（同45.2%増）と増収増益となりました。

※文中の前年同期比につきましては、参考として記載しております。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の資産総額は206億12百万円となり、前事業年度末に比べ21億50百万円の増加となりました。これは、主に新規出店や改装等により積極的に設備投資を行った結果、有形固定資産が4億77百万円、投資その他の資産が3億33百万円増加し、また、売上増加に伴い現金及び預金が12億84百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、72億54百万円となり、前事業年度末に比べ5億46百万円の増加となりました。これは、主に買掛金が2億70百万円増加したことや、未払金が1億86百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金の増加により133億58百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが38億67百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが22億79百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが3億3百万円の支出となり、この結果、当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）残高は、期首より12億84百万円増加し18億78百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は38億67百万円となりました。これは、主に税引前四半期純利益が29億74百万円となり、減価償却費が8億90百万円、減損損失が1億1百万円、店舗閉鎖損失が2億56百万円、仕入債務の増加が2億70百万円あった一方で、法人税等の支払額が10億83百万円等あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は22億79百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が15億9百万円、貸付による支出(建設協力金の支出)が4億41百万円となったことに加え、差入保証金の差入による支出が1億50百万円等あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は3億3百万円となりました。これは、長期借入金の返済による支出が2億21百万円、配当金の支払が81百万円あったことによるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年10月期の通期業績予想は、売上高639億88百万円、営業利益41億77百万円、経常利益44億18百万円、当期純利益21億95百万円の見通しであり、平成21年6月1日に公表しました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,878,478	593,618
原材料及び貯蔵品	327,614	243,198
その他	802,663	827,907
流動資産合計	3,008,756	1,664,724
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,486,406	6,657,160
その他(純額)	3,036,797	3,388,467
有形固定資産合計	10,523,203	10,045,628
無形固定資産	103,785	108,570
投資その他の資産		
関係会社株式	97,905	—
長期貸付金	2,880,822	2,629,727
差入保証金	2,918,068	2,819,415
その他	1,080,315	1,194,742
投資その他の資産合計	6,977,111	6,643,885
固定資産合計	17,604,100	16,798,084
資産合計	20,612,856	18,462,809
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,750,043	2,479,274
1年内返済予定の長期借入金	240,000	281,250
未払金	2,021,223	1,835,009
未払法人税等	608,893	590,226
引当金	110,666	110,666
その他	604,989	379,306
流動負債合計	6,335,816	5,675,733
固定負債		
長期借入金	670,000	850,000
その他	248,199	181,859
固定負債合計	918,199	1,031,859
負債合計	7,254,016	6,707,593
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	9,019,125	7,415,501
株主資本合計	13,358,839	11,755,215
純資産合計	13,358,839	11,755,215
負債純資産合計	20,612,856	18,462,809

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)
売上高	47,284,784
売上原価	22,535,502
売上総利益	24,749,282
販売費及び一般管理費	21,572,824
営業利益	3,176,458
営業外収益	
受取利息	40,032
受取手数料	77,765
物販収入	72,941
雑収入	42,075
営業外収益合計	232,815
営業外費用	
支払利息	15,221
為替差損	1,420
物販原価	32,046
雑損失	5,094
営業外費用合計	53,782
経常利益	3,355,491
特別損失	
固定資産除却損	18,312
店舗閉鎖損失	256,021
減損損失	101,892
その他	5,000
特別損失合計	381,226
税引前四半期純利益	2,974,265
法人税、住民税及び事業税	1,117,000
法人税等調整額	170,841
法人税等合計	1,287,841
四半期純利益	1,686,423

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	2,974,265
減価償却費	890,705
減損損失	101,892
受取利息	△40,032
支払利息	15,221
固定資産除却損	18,312
店舗閉鎖損失	256,021
たな卸資産の増減額(△は増加)	△84,415
仕入債務の増減額(△は減少)	270,769
未払消費税等の増減額(△は減少)	206,519
その他	355,516
小計	4,964,776
利息の受取額	4
利息の支払額	△13,774
法人税等の支払額	△1,083,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,867,674
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△1,509,086
無形固定資産の取得による支出	△17,857
関係会社株式の取得による支出	△97,905
貸付けによる支出	△441,295
差入保証金の差入による支出	△150,617
差入保証金の回収による収入	38,999
その他の支出	△101,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,279,599
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△221,250
配当金の支払額	△81,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	△303,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,284,859
現金及び現金同等物の期首残高	593,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,878,478

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期損益計算書

区分	前四半期累計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年7月31日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	41,513,020	100.0
II 売上原価	20,303,944	48.9
売上総利益	21,209,076	51.1
III 販売費及び一般管理費	19,276,179	46.4
営業利益	1,932,896	4.7
IV 営業外収益	235,990	0.5
V 営業外費用	53,495	0.1
経常利益	2,115,391	5.1
VI 特別損失	78,217	0.2
税引前四半期純利益	2,037,174	4.9
法人税、住民税及び事業税	882,000	
法人税等調整額	△6,264	2.1
四半期純利益	1,161,439	2.8

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前四半期累計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年7月31日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	2,037,174
減価償却費	832,649
役員賞与引当金の増減額	△12,000
受取利息	△33,921
支払利息	7,087
固定資産除却損	38,681
減損損失	26,172
店舗閉鎖損失	1,735
たな卸資産の増減額	△144,163
その他流動資産の増減額	△58,583
店舗釣銭用保証金の増減額	△40,129
仕入債務の増加額	314,675
未払消費税等の減少額	△112,573
その他流動負債の増加額	218,499
一括購入資産の増減額	△15,977
その他	265,906
小計	3,325,230
利息の受取額	278
利息の支払額	△6,906
法人税等の支払額	△1,246,848
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,071,754
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△2,687,388
無形固定資産の取得による支出	△35,533
関係会社株式の取得による支出	△106,420
貸付による支出	△575,213
保証金の差入による支出	△335,830
保証金の回収による収入	65,132
その他の投資等の取得による支出	△158,658
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,833,912

	前四半期累計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年7月31日)
区分	金額 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	580,000
長期借入金返済による支出	△153,750
配当金の支払額	△82,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	343,607
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,288
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額	△1,420,838
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	2,005,220
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	584,381